

地域再生計画（港整備交付金事業）事後評価

地域再生計画名：瀬戸内の歴史・文化と景観が調和したみなとづくり計画

計画期間：平成22年度～平成26年度

当計画において呉市が実施した内容

- 地区名 : 大屋漁港（第1種漁港）
- 事業期間 : 平成22年度～平成23年度
- 計画区域における課題（概要）
: 本計画区域（呉市，廿日市市，大竹市及び江田島市の区域の一部）において，漁船や小型船を収容できる係留施設や水域が不足していることから，係留施設に係留できない船舶が，やむなく護岸沿いや防波堤等に係留している状況であり，景観を損ねているばかりでなく，海上交通に支障を来している。
特に大屋漁港では，既存の物揚場が必要水深を満たしておらず，常時係船ができない状況であり，漁業関係者等から整備が望まれている。
- 目標 : ①本地域の周辺護岸や防波堤に漁船及び小型船に係留されている状態を解消する。
→ 新たに124隻（内，呉市分20隻）を収容する。
- 実施内容 : 小型船を収容するための施設整備
- 整備量 : 漁港施設（水域施設，係留施設，輸送施設，漁港施設用地）
※平面図参照
- 事業費 : 286,113,450円
内，補助金額（1／2） 143,056,725円
- 実績及び評価 : 当初の計画通り，事業を実施し，漁港利用者の利便性の向上を図ることができた。

平面図

第一種 大屋漁港

漁港台帳図面
漁港平面図

呉市

凡 例	
港の区域の境界	
防波堤・防砂堤	
護岸	
胸壁	
物揚場	
物揚護岸・けい船護岸	
浮き棧橋	
船立場	
泊地	
道路	
漁港施設駐車場	
灯台(簡易標識)	
漁港施設用地	
漁船漁具保全施設	

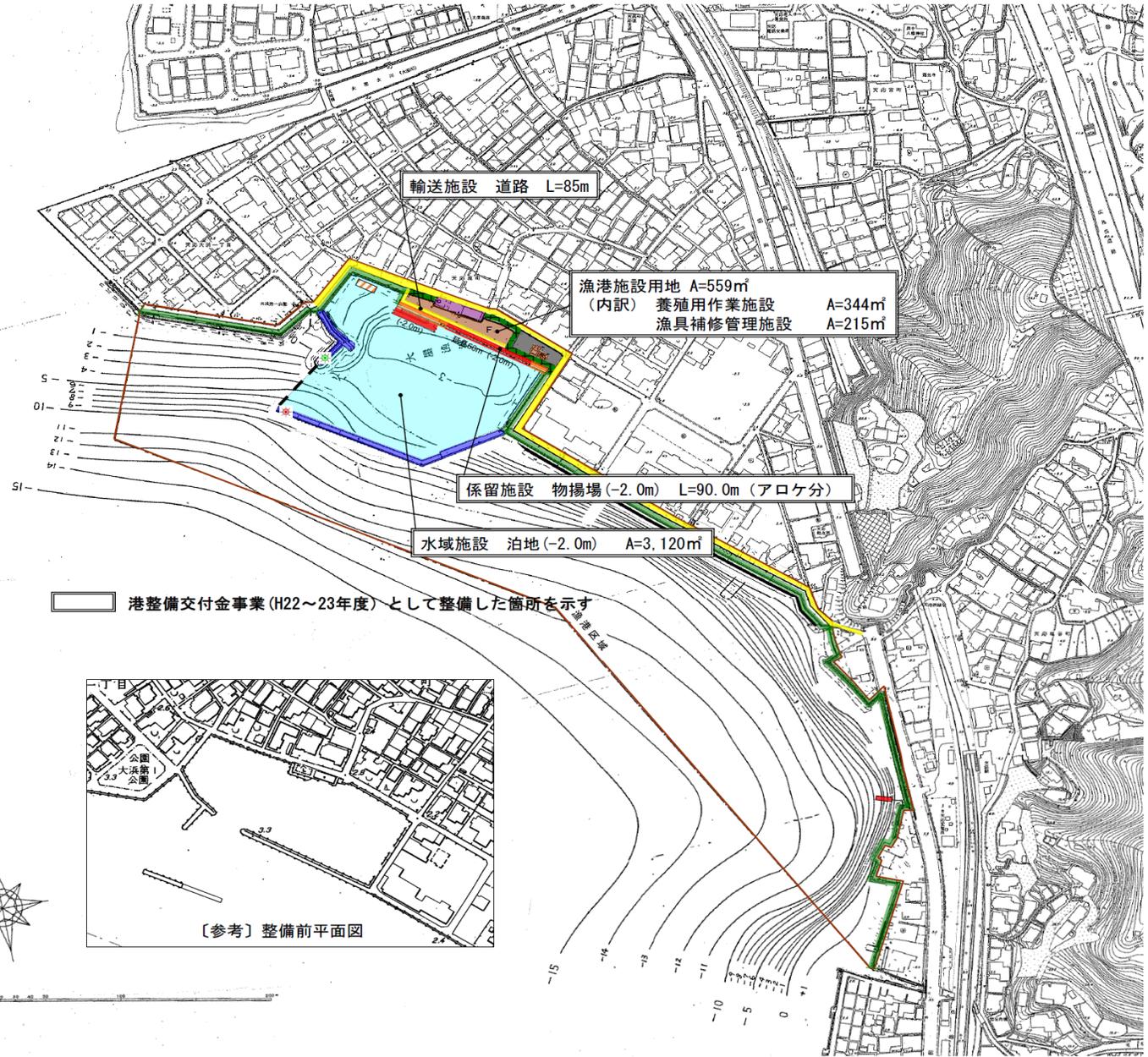


写真 (着工前)



写真 (完成)

